

塗り壁 仕上材

かきしん

伝統
優美

施工要領書

【改定】2020 年 12 月

※本要領書の内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

Best Walls, Best Life

しっくいと共に

日本プラスター株式会社

1. 使用材料

【 使用材料 】

使用材料	荷姿	適用部位	標準塗り厚	施工面積
かきりしん	粉体 20kg	外壁	約 7mm	3.3 m ² /袋※

※塗り厚、下地の状態によって前後します

使用材料	用途	備考
骨材 (左官用砕石)	かきりしん混合用	標準は 7 厘(約 2.5 mm)の白色砕石 最小 3 厘(約 1 mm)から 最大 1 分(約 3.3 mm)まで使用可能

使用材料	荷姿	調合比率※5 倍希釈の場合
NP シーラック (吸水調整材)	18 kg 金属ペール缶	原液 : 清水 1 : 4 (18 kg) (約 72 ℓ)

●適用条件

- ・外壁の場合、軒の出、ひさし等を設けてください。
- ・外塀の場合、笠瓦、笠木をのせ、笠木には水切りを設けてください。
- ・大壁の場合、目地を適宜入れてください。
- ・ラスモルタルは JASS 15「左官工事」に従い、防火構造で指定された工法で適切に施工してください。
- ・モルタルの表面は粗面仕上げとし、十分な乾燥期間をとってください。

2. 外壁での施工方法

モルタル下地に適用する場合の施工フローを図1に示す。

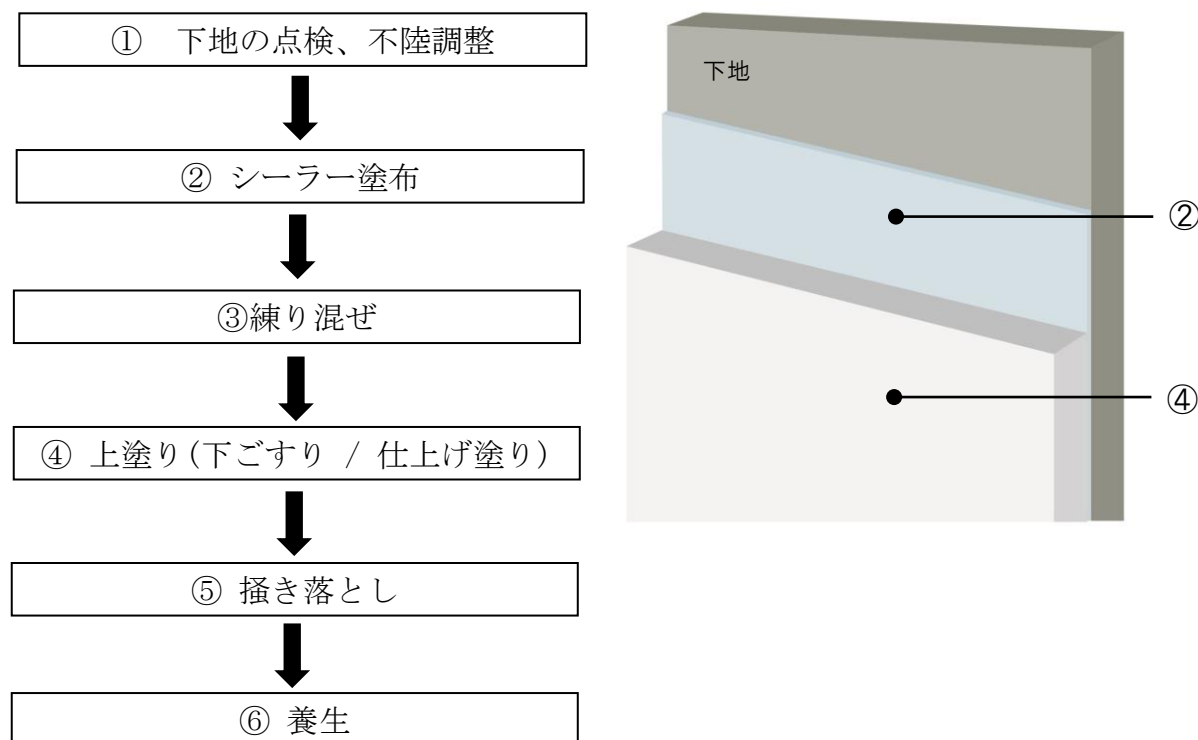


図1. モルタル下地の施工フローおよび構成図

① 下地の点検、不陸調整

脆弱部、レイトンス、汚れ等を入念に除去し、健全な下地状態としてください。

② シーラー塗布

NP シーラック 5 倍液を刷毛等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。

③ 練り混ぜ

モルタルミキサーでかきりしん粉体と骨材をよく空練りしてください。空練りした材料に所定量の清水を加え、十分に練り混ぜてください。混練材料は加水後 1 時間以内に使用し、練り足しおよび水を加えての練り戻しは行わないでください。

※基本配合は【かきりしん 1 袋(20kg)】に対して【骨材(7 厘)30kg】ならびに【清水 8～9ℓ】になります。

<骨材について>

標準は 7 厘(約 2.5 mm)ですが、最小 3 厘(約 1 mm)から最大 1 分(約 3.3 mm)まで使用できます(混合使用も可)。塗り厚は 3 厘の場合で約 5 mm、1 分で約 9 mmとなります。なお、小さい骨材を使用すると薄目の色調となります。また、白色(白竜、寒水など)の碎石使用が標準ですが、有色の碎石・川砂を使用することもできます。これらの場合、色調は若干変わります。

④ 上塗り(下ごすり / 仕上げ塗り)

練り混ぜた かきりしん で下ごすりを行った後、所定の塗り厚に塗り付けてください。
その後、水引き具合を見てコテ押さえを行ってください。

⑤ 掻き落とし

水引き具合を見て、金グシで表面をムラなく掻き落とします(1~2mm厚程度)。ベトつかず、楽にサラッと落ちるのが最適なタイミングです。

※掻き落とすタイミングの早過ぎ・遅過ぎにより色差の生じる場合があります。細心の注意をして、一定の乾燥条件で掻き落としてください。一度生じた、色ムラ・キズの修復はできません。

※掻き落とした後の残粉(壁の表面についた粉)は、その日の最後に(出来るだけ乾かしてから)左官バケで軽く払い落としてください。残粉が残っていると白華の原因になります。

⑥ 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れが発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

施 工 上 の 注 意

- 冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い場合は白華現象が生じやすいため、施工・養生には細心の注意をしてください。白華現象を修復することはできません。(対策については弊社営業までお問い合わせください。)
- 気温が5℃以下および35℃以上になる場合は、施工を見合わせてください。
- 施工前に必ず試し塗りを行い、仕上がりおよび乾燥具合の確認を行ってください。
- 本製品は自然素材です。塗り方、掻き落とし方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干の色差が出る場合があります。
- 施工道具を洗浄した洗浄水を河川や側溝に破棄しないでください。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032